

MITO FIRST HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDEBOOK 2026

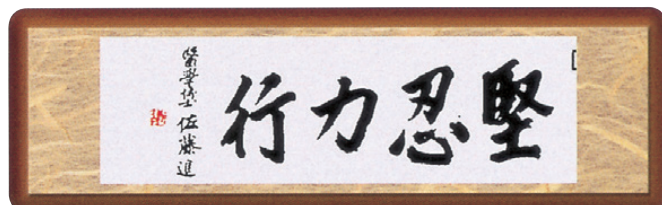
最高の出会いと
出番がある





創立147年・中高一貫校

校 是 (こうぜ)



明治41(1908)年に当時の校長菊池謙二郎が決めました。『至誠一貫』は大政奉還を成し遂げた徳川慶喜公に、『堅忍力行』は近代外科医の先駆者である佐藤進氏に書いていただいたものです。以来百年以上、「裏表のない誠実さ」と、「最後までやり抜く力」を重視してきました。

目指す学校像

真理を愛する学問第一の校風の下、質が高く、活気ある授業や課題研究、社会と連携した教育プログラムを展開し、生徒が切問近思の姿勢で学ぶ学校

自主自立の精神を重視する自由な校風の下、生徒が何ごとにも自己管理しながら主体的に取り組むとともに、中高・学年の枠を超えて切磋琢磨する学校

至誠一貫・堅忍力行の校是の下、豊かな人間性や最後までやり抜く力を育むとともに、高い目標に挑む生徒をしっかりと支援する学校

目指す生徒像

自己の目標の実現を目指し、
社会性と創造力、自己管理能力を身に付け、社会に貢献できる者



として新たな伝統を創造

本校の沿革

明治11(1878)年	茨城師範学校予備学科開校(本校創立)
明治29(1896)年	旧水戸城跡に移転
明治41(1908)年	第一次教育改革(校是、校歌の制定等)
昭和23(1948)年	茨城県立水戸第一高等学校発足
昭和25(1950)年	女子生徒が初めて入学
昭和46(1971)年	服装の自由化始まる
平成17(2005)年	単位制に移行
令和 2 (2020)年	医学コース設置
令和 3 (2021)年	附属中学校開校(1学年2クラス)



各界で活躍する卒業生

本校の卒業生は約4万人に及び、各界のリーダーとして活躍しています。

例えば、本邦初の都市間連絡飛行に挑んだパイロット・武石浩玻氏(明治35年卒)、学生野球の父と呼ばれ「一球入魂」の言葉でも知られる飛田穂洲氏(明治40年卒)、水戸空襲で焼け野原となった本校でオセロゲームを考案した長谷川五郎氏(昭和31年卒)、建築界のノーベル賞と呼ばれるプリツカー賞を受賞し、校内の江山閣も設計した妹島和世さん(昭和50年卒)、本校の歩く会をモチーフにした小説「夜のピクニック」でも知られる作家・恩田陸さん(昭和58年卒)、日立製作所社長の徳永俊昭さん(昭和60年卒)など、多士済々にわたります。



民間パイロットの魁

武石 浩玻 (明治35年卒)



学生野球の父

飛田 穂洲 (明治40年卒)



建築界のノーベル賞

妹島 和世 (昭和50年卒)

「知道」の由来

「知道会」(同窓会)・「知道生徒会」(生徒会)の名称の由来

ち ばんぶつ あまね
知 萬物に周くして、
みち てん か すく
道 天下を濟ふ。

出典「易経」

知恵・知識を備えることは、天下を正しい方向に導くことに通じる、という意であり、「よく学び、正しい知識を身に付け、世のために役立つ人物を目指しなさい」というメッセージが込められています。

教育課程（令和8年度入学生）

30科目以上の選択科目を設けたり、60分×6時間で密度の濃い授業を展開したり、土曜日に希望者に課外授業を設けたりするなど、生徒のどんな希望進路にも応える教育課程を編成しています。さらに、「学問第一」「授業第一」の原則を掲げ、授業力向上のために、学校内外での教員研修を積極的に実施しています。

基礎・基本的学力を養成

進路希望をふまえ
地歴と理科の選択

進路選択、興味・関心等に応じた
多様な選択科目

共通テスト・
個別試験に
しっかりと対応!

1年		2年		3年	
単位	共 通	単位	緩やかな文理分け	単位	理 系
1	現代の国語	1	文学国語	1	文学国語
2		2		2	
3	言語文化	3	古典探究	3	
4		4		4	
5		5		5	
6	地理総合	6	公共	6	
7		7		7	
8	歴史総合	8	数学Ⅱ	8	
9		9		9	
10	数学Ⅰ	10	数学B	10	
11		11		11	
12	数学Ⅱ	12	数学C	12	
13		13		13	
14	数学A	14	生物基礎	14	
15		15		15	
16	物理基礎	16		16	
17		17		17	
18	化学基礎	18	日本史探究②	18	
19		19		19	
20	体育	20	地理探究②	20	
21		21		21	
22	保健	22	世界史探究②	22	
23		23		23	
24	選択 音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ	24	物 理②	24	
25		25		25	
26	英語コミュニケーションⅠ	26	化 学②	26	
27		27		27	
28	論理・表現Ⅰ	28	地 学基礎②	28	
29		29		29	
30	情報Ⅰ	30	1～2科目	30	
31		31		31	
32	総合的な探究の時間	32	1～2科目	32	
33		33		33	
34	ホームルーム	34	家庭基礎	34	
35		35		35	
36		36		36	

*は学校設定科目 □は選択科目 丸数字は単位数

中高・学年の枠を超えた他校にはない教育プログラム

附属中学校と協働して多彩な教育プログラムを実施しています。その中心が、和が4になる2学年(高1と中3、高2と中2、高3と中1)が合同で活動する「+4学年活動」です。

高1&中3 発達段階の近さを活かし、共に学問や世界への関心を高める

- ・文理・融合講座(各分野の研究者による最先端の講義)
- ・米中派遣(希望者を二方面に派遣。学校独自の奨学金も用意。)



▲文理・融合講座(東大宇野重規先生)



▲米中派遣(スタンフォード大学)



▲台湾派遣(台湾大学)

高2&中2 中だるみを排し、自己や社会に対する研究を深める

- ・キャリア探究対話(第一線で活躍する各分野の社会人との対話)
- ・探究力向上セミナー(大学研究者等に探究の技法を学ぶ)



▲キャリア探究対話
(教育系YouTuber
葉一さん)

高3&中1 中高のスタートとゴールに当たり、やり抜く力を高める

- ・GRITセミナー(医学・真理の専門家による最後までやり抜く力を高める講座)

全学年合同

著名人を講師に招いた「心に火をつけるフォーラム」や、公的機関のリーダーによる講演や国会・霞が関で研修を行う「パブリックリーダースクール」、探究成果を大ホールで披露する「知道プロジェクト発表会」を開催しています。



▲心に火をつけるフォーラム
(ノーベル平和賞ムハマド・ユヌス博士)



▲パブリックリーダースクール



▲知道プロジェクト発表会

また、+4学年を3階建て校舎の同じフロアに配置し、生徒どうしの日常的な交流を促進。例えば、中1生は、同じフロアの高3生の背中に日々学んでいます。

手厚い進路支援

生徒の第一志望実現に向けたサポート体制（進路支援部）を整え、難関大学や医学部医学科などに多くの合格者を輩出しています。令和2年度には、医師を志す者を対象とした医学コースを、令和5年度には、第一志望を貫き捲土重来を期する一浪生をサポートする「知道図南会」を新設するなど、進路支援を強化しています。

施設面でも、エアコン・Wi-Fiを完備し、平日夜間や土曜日にも利用できる学習館を設置し、集中して自習できる環境を整えています。



▲学習館



▲学習室 (88席)

進路の状況 (大学合格者数)

() 内は既卒合格者数

	入試年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度
国立大学	卒業生数	236	281	315	318	317	318	321	314
	北海道	11 (5)	12 (1)	12 (6)	7	9 (1)	13 (4)	9 (5)	8 (1)
	東北	17 (5)	27 (7)	28 (9)	25 (7)	38 (7)	31 (12)	31 (18)	26 (7)
	茨城	8 (4)	19 (4)	17 (7)	28 (8)	35 (3)	34 (10)	25 (3)	17 (2)
	筑波	27 (3)	36 (12)	41 (8)	23 (6)	23 (5)	35 (11)	28 (8)	31 (11)
	東京	7 (4)	11 (5)	15 (4)	14 (3)	23 (3)	8 (3)	8 (5)	6 (2)
	東京科学	6 (1)	5 (1)	2 (1)	3 (1)	3	5 (3)	4 (1)	7 (5)
	東京藝術	1	1	1 (1)	0	1	0	0	1 (1)
	一橋	5	1 (1)	4 (1)	4 (2)	2	1	5 (2)	4 (2)
	名古屋	1 (1)	1	4 (1)	0	4 (2)	2 (2)	2 (2)	2
	京都	6 (4)	6 (2)	7 (2)	5 (2)	3 (2)	5 (3)	4 (1)	2
	大阪	5	2 (1)	7 (4)	1	2 (1)	2 (2)	7 (4)	2 (1)
	九州	0	1	2	1 (1)	5 (2)	2	2 (1)	0
	国立計	141 (46)	171 (46)	202 (66)	169 (46)	227 (53)	225 (77)	188 (67)	174 (55)
私立大学	入試年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度
	卒業生数	236	281	315	318	317	318	321	314
	早稲田	45 (14)	29 (10)	58 (32)	58 (23)	28 (12)	45 (27)	38 (21)	44 (28)
	慶應義塾	21 (8)	19 (10)	33 (13)	30 (13)	15 (3)	25 (16)	22 (15)	18 (9)
	上智	15 (2)	11 (2)	11 (4)	17 (1)	8 (4)	11 (5)	8 (1)	10 (8)
	東京理科	72 (33)	78 (43)	104 (52)	68 (40)	48 (25)	82 (54)	76 (57)	61 (50)
	私立計	604 (264)	673 (274)	780 (333)	753 (351)	838 (463)	1005 (588)	687 (420)	593 (376)

- 医学部医学科合格者は29名
(うち国公立現役合格者14名は過去最多。県内最多。全国の公立中高一貫校で最多。)
- 京都大学合格者は4年連続5名以上。県内最多。
- 難関私立大学に153名合格。県内最多。
- 筑波大学合格者は16年連続20名以上。
- 東京藝術大学に3年連続合格。

卒業生からのメッセージ



東京大学文科三類／茨城大学教育学部附属中学校出身
岩田 楓季(令和7年3月本校卒)

私が思う水戸一高の魅力は、仲間同士が自然と高め合える雰囲気があることです。校内には個性豊かな仲間がたくさんいて、日々さまざまな刺激を受けながら過ごすことができます。特に受験期には、クラスの仲間だけでなく、学習館や図書館で目標に向かって努力している仲間の姿に背中を押され、私も前向きに勉強に取り組むことができました。また、わからないことがあれば友

人が教えてくれたり、先生方も丁寧に質問に答えてくださったりと、安心して学べる環境が整っています。

もう一つの魅力は、自分の「好き」や「得意」を活かして、とことん追

求できる環境があることです。この学校では、勉強に限らず、部活動や学校行事など多様な場面で、自分の関心や強みを伸ばしていくことができます。特に学苑祭では、デザインやプログラミングなど、それぞれの得意分野を活かして準備や企画に取り組み、全体で一つの大きな作品をつくりあげていく過程がとても印象的でした。このように、誰もが好きなことに全力で向き合える雰囲気があったからこそ、私自身も部活動や課題研究などを通して、自分の興味を深めることができました。

水戸一高には、頑張る人を応援してくれる仲間と先生、そして挑戦を後押ししてくれる環境があります。ぜひこの場所で、自分の可能性を広げながら、充実した3年間を過ごしてください。



東京大学理科一類／常陸太田市立峰山中学校出身
岡崎 涼平(令和7年3月本校卒)

水戸一高の魅力はこの学校で関わることでできる「人」にあると思っています。水戸一高には県内各地から個性豊かな生徒が集まります。どの生徒も高い志を持って勉強や部活など自分の興味のある分野に打ち込んでいて、そのような人たちの中に身を置くことで非常に良い刺激をもらえます。また、互いの価値観を尊重し受け止めてくれる温かい人がたくさんいるので、無理に周囲に合わせることなく、自分らしくいられます。先生方は生徒の自主性を尊重しつつも、助けが必要な時には惜しみなく力を貸してくれます。このような素晴らしい人々との出会いはきっと一生の宝物になると思います。

また、水戸一高は進学校でもあるので難関大学への合格をサポートしてくれる環境が整っています。3年生の授業は難関大の入試を想定したハイレベルなものであり、先生方が生徒の質問に丁寧に答えてくれます。そして、同じ志望大学を目指して努力する仲間の存在は辛い受験期の中でも大きな励みになります。

小説「夜のピクニック」のモデルになっている歩く会や毎年大盛況の学苑祭など学校行事が充実しているのもこの学校の魅力です。水戸一高にはここでは語りつくせない魅力がまだまだたくさんあります。ぜひ水戸一高に入学して、その魅力を存分に体験してみてください。



慶應義塾大学医学部／水戸市立第二中学校出身
飯田 悠月(令和7年3月本校卒)

水戸一高で過ごした日々は、かけがえのない思い出にあふれ、これまでの人生で最も濃く、充実した3年間だったと感じています。その理由は何より、優しくて個性豊かな仲間たちの存在があったからです。水戸一高の最大の魅力は、「どんな自分も温かく受け入れてくれる仲間がいること」だと私は心から思います。

皆さんは、高校に入ったら何をしてみたいですか?勉強にひたすら励みたい人、部活に全力で打ち込みたい人、行事で思いきり青春を楽しみたい人、あるいはまだやりたいことは決まっていなくても、今よりもっと成長した自分に出会いたいと思っている人——きっと

さまざまな思いがあります。水戸一高は、誰もが自分の強みを伸ばし、居場所を見つけられる場所です。学習面でも、部活や行事でも、きっと皆さんが輝ける場が用意されています。そしてそこには、共に喜び、悩み、時には涙を分かち合える仲間がいるはずです。

私自身、受験期には何度も立ち止まり、くじけそうになりました。でも、そんなときそっと背中を押してくれたのは、同じ夢に向かって走る仲間たちの存在でした。一緒に悩み、励まし合い、泣いて、笑って——気づけばその全てが、かけがえのない思い出に変わっていました。

水戸一高には、人生を変える出会いがあります。ここであなたも、一生の宝物になるような仲間と、心から誇れる青春をしてみませんか?



東北大学工学部／常陸太田市立瑞竜中学校出身
綿引 一樹(令和7年3月本校卒)

水戸一高には、環境、人、行事、その他様々な点で多くの魅力が詰まっています。自由な校風を持ちつつも、生徒が熱意を持って勉強や課外活動に励む事ができる環境が整っています。勉強一本も良いですが、勉強の他に、委員会活動に積極的に参加する、部活動に力を入れる、あるいは両方に力を入れる、趣味に没頭するなど、あらゆる選択肢が取れます。自分のキャパシティが許してくれる限り、どんなことにも挑戦できます。

個性や強みを持った人が多く、良い刺激を受けることができます。実際に友人たちから多くの良い刺激を受け、楽しく、充実した学校生活を送れ

ました。また受験期には、支えあいながら共に合格に向けて受験勉強を頑張る仲間となってくれました。学校に行けば、共に受験勉強をする仲間がいる、というのは以前に自分が思っていたよりも大きかったです。おかげでふさぎ込んでしまうようなことなく、第一志望に合格できました。受験というのはどうしてもきついものがありますが、その中で間違いなく、彼らは支えとなってくれた大きな存在でした。

先生方のサポートは手厚く、受験生の時はもちろん、そうでない時も大いに助けられました。私はAO入試を受けた数少ない内の一人ですが、AO入試に関するサポートも充実していて、とてもありがたかったです。

多くの学びや出会いがある水戸一高で、皆さんの高校生活が実り豊かなものになることを願っています。



京都大学理学部／ひたちなか市立佐野中学校出身
稲葉 涼介(令和6年3月本校卒)

水戸一高は多くの魅力に満ちた高校です。私もまだ全ての魅力を見出せてはいないと思います。卒業後に改めて尊敬できる友人たちと過ごした日々のかげがえのなさを感謝し、時間が経つほど愛校心が深まっていくように感じます。

私は高校で三年間学び、卒業後は浪人生として一年間のこの学校で過ごしました。大学受験は人生の大きな節目の一つだと思います。孤独になりがちな浪人生で図南会の温かい支えは大変ありがたく、なかでも応援してくださった先生方の存在は大変心強いものでした。最後までやり抜き、将来のために努力できたのは水戸一高のおかげでした。

私が感じるこの学校の最大の魅力は、「環境」にあります。水戸一高には個性豊かで優秀な生徒が集まっていて、素晴らしい出会いの連続で、毎日が刺激的で飽きることはないものでした。勉強に打ち込む人、部活に励む人、行事に尽力する人や興味や関心を深める人がおり、その姿に刺激を受けて自分のしたいことに全力で取り組むことができ、互いに尊重し、認め合える環境でした。水戸一高の自由な校風によって育まれたこのような環境では自分らしく過ごすことができるでしょう。

高校生活は二度と戻らない貴重な時間です。私の愛する母校で素晴らしい出会いを通じて、この大切な時間が皆さんの一生の財産になることを心から願っています。

部活動・委員会

● **部活動** 約9割の生徒が加入。一人で複数の部等に参加している者も多数います。
限られた時間を有効に活用して活動しています。

体育部

硬式野球／軟式野球／陸上競技／水泳／サッカー／
バスケットボール／バレーボール／卓球／テニス／
ソフトテニス／ハンドボール／ラグビー／剣道／
弓道／バドミントン／山岳

文化部

演劇／写真／天文／英語研究会／生物同好会／
史学会／化学／美術／吹奏楽／書道／茶道／
棋道／放送／漫画研究／合唱／アマチュア無線

同好会

軽音楽
クイズ研究
ダンス



▲硬式野球部(創部134年)



▲山岳部(2024年インターハイ)



▲放送部(2024年NHKコンクール)

● **委員会** 各クラスからの代表の生徒が委員になる以外に、自ら希望して委員となり、各行事等を運営しています。
部活動同様、複数の委員会に所属し活躍している生徒も多数います。

常置委員会

放送／応援団／図書／保健／ホームルーム／クラスマッチ／集会／掲示／援助費／
部・同好会管理／予算／特別援助費／リサイクル／交通マナーアップ／
全日ホームルーム／情報／ボランティア

特別委員会

学苑祭／歩く会／卒業式／
水戸一高説明会／
自由討論検討



▲クラスマッチ



▲定例生徒集会

▼学苑祭：例年、2日間にわたり約7千人が来場されます



ともに77回を数える学苑祭と歩く会も、生徒が主体的に企画・運営しています。



▲歩く会：約70kmを一昼夜にわたり踏破します

年間行事計画 (令和7年度)

	4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September
学習・進路						
1年	●新入生オリエンテーション ●課題テスト ●生徒面談月間	●第1回定期考査 ●GRITセミナー		●第1回実力試験 ●保護者面談	●東大探訪 ●医療機関体験学習	●第2回定期考査 ●中間成績発表
2年	●春期テスト ●生徒面談月間	●第1回定期考査 ●医学部進路講演会		●第1回実力試験 ●保護者面談 ●医学セミナー	●大学見学(必修) ●医療機関体験学習	●第2回定期考査 ●選択科目説明会 ●保護者進路講演会 ●中間成績発表
3年	●第1回校内模擬試験 ●生徒面談月間	●第1回定期考査 ●GRITセミナー ●医学部進路講演会	●進路講演会	●第2回校内模擬試験 ●第1回保護者面談	●大学見学(希望者)	●第2回定期考査 ●大学入学共通テスト説明会 ●中間成績発表

学校生活

- 前期開始
- 始業式
- 入学式
- 全日ホームルーム
- 離任式
- 新任式
- 対面式

- 奨学会総会
- 保護者懇談会
- クラスマッチ

- 学苑祭

- 硬式野球部全校応援
- 終業集会
- 夏季休業(7/30~8/31)

- 水戸一高説明会
- パブリックリーダー・スクール
- 各部合宿練習

- 始業集会
- 前期終了
- 心に火をつけるフォーラム



▲全日ホームルーム



▲全校野球応援



▲東大探訪

	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
学習・進路						
1年	●選択科目説明会 ●保護者進路講演会 ●文理・融合講座	●第3回定期考査 ●GRITセミナー ●文理・融合講座	●第2回実力試験	●米中派遣(希望者)	●第4回定期考査	●米中派遣(希望者)
2年		●第3回定期考査	●キャリア探究対話 ●医学セミナー ●第2回実力試験		●第4回定期考査	
3年		●第3回定期考査 ●GRITセミナー	●第2回保護者面談 ●第3回校内模擬試験	●大学入学共通テスト ●私立大学入試開始	●国公立大学前期日程試験	●公立大学中期日程試験 ●国公立大学後期日程試験

学校生活

- 後期開始
- 歩く会
- 米中派遣事前指導

- 学校公開
保護者・地域の希望者対象
公開授業等
- 創立記念日(11/22)
- 米中派遣事前指導

- 終業集会
- 冬季休業(12/24~1/6)
- 米中派遣事前指導

- 始業集会
- 米中派遣事前指導

- 知造プロジェクト発表会
- 米中派遣事前指導

- 卒業式
- 終業式
- 学年末休業(3/23~)
- 各部合宿練習



▲GRITセミナー



▲医学セミナー



▲卒業式

恵まれた環境



▲校舎と中庭



▲圖書館

鐵道各路線時刻表



所在地





〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-10-1

TEL.029-224-2254 **FAX.029-225-5694**

E-mail koho@mito1-h.ibk.ed.jp

URL <https://www.mito1-h.ibk.ed.jp/>

